

2 受療率

全国の受療率（人口10万対）は、「入院」1,038、「外来」5,696である。

(1) 性・年齢階級別

性別にみると、入院では「男」977、「女」1,095、外来では「男」5,066、「女」6,292となっており、年齢階級別にみると、入院では「65歳以上」2,840、「75歳以上」4,205、外来では「65歳以上」10,637、「75歳以上」11,906となっている（表4、統計表4）。

表4 性・年齢階級別に応じた受療率（人口10万対）

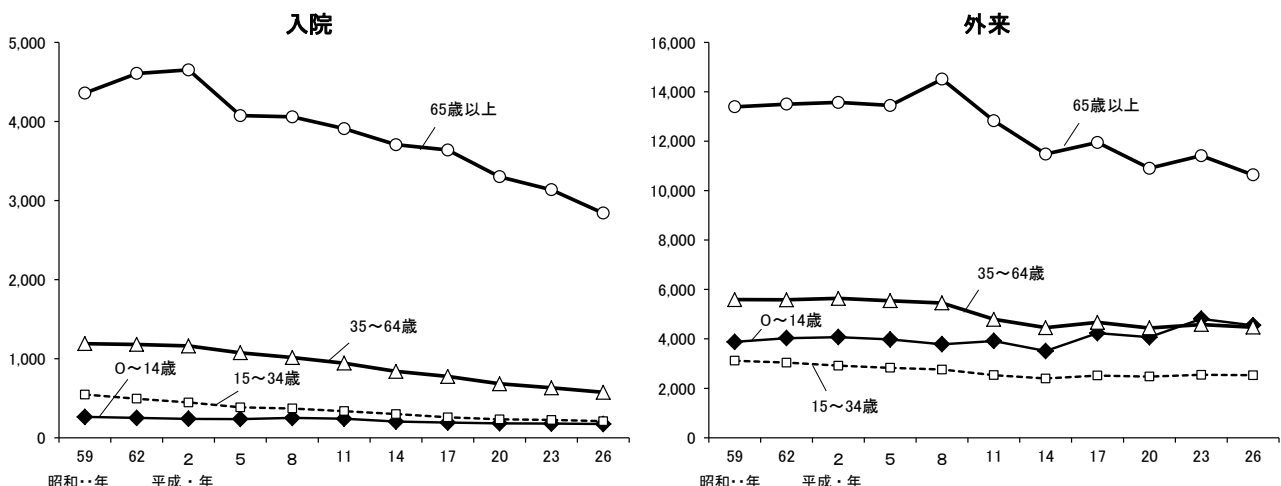
年齢階級	入 院			外 来		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	1 038	977	1 095	5 696	5 066	6 292
0 歳	1 062	1 119	1 001	6 691	6 811	6 564
1 ~ 4	170	187	152	6 778	6 914	6 638
5 ~ 9	92	101	83	4 422	4 562	4 275
10 ~ 14	92	102	82	2 649	2 711	2 584
15 ~ 19	117	123	111	1 937	1 750	2 134
20 ~ 24	165	147	184	2 240	1 743	2 765
25 ~ 29	241	178	306	2 716	1 908	3 561
30 ~ 34	296	216	379	3 086	2 156	4 043
35 ~ 39	304	266	342	3 280	2 463	4 118
40 ~ 44	330	351	308	3 382	2 850	3 927
45 ~ 49	427	480	374	3 827	3 333	4 327
50 ~ 54	591	688	493	4 664	4 087	5 244
55 ~ 59	772	921	626	5 361	4 878	5 838
60 ~ 64	1 064	1 282	855	6 514	6 164	6 853
65 ~ 69	1 350	1 618	1 102	8 309	7 821	8 761
70 ~ 74	1 820	2 110	1 568	10 778	10 266	11 224
75 ~ 79	2 635	2 913	2 416	12 397	12 110	12 624
80 ~ 84	3 879	4 063	3 757	12 606	12 857	12 439
85 ~ 89	5 578	5 603	5 569	11 373	11 871	11 126
90歳以上	8 412	7 803	8 587	9 074	9 911	8 834
(再 掲)						
65歳以上	2 840	2 786	2 881	10 637	10 327	10 872
75歳以上	4 205	4 036	4 311	11 906	12 169	11 741

平成26年10月

注：総数には、年齢不詳を含む。

年齢階級別にみると、入院、外来ともに「65歳以上」が最も高くなっているが、年次推移では低下傾向となっている（図5、統計表4）。

図5 年齢階級別に応じた受療率（人口10万対）の年次推移



注：1）平成23年は、宮城県、石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。
2）数値は、統計表4参照。

(2) 傷病分類別

傷病分類別にみると、入院では、高い順に「V 精神及び行動の障害」209、「IX 循環器系の疾患」189、「II 新生物」114となっている。外来では、「XI 消化器系の疾患」1,031、「IX 循環器系の疾患」734、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」691となっている。(表5、統計表5)

表5 傷病分類別にみた受療率(人口10万対)

平成26年10月

傷病分類	入院			外来		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	1 038	977	1 095	5 696	5 066	6 292
I 感染症及び寄生虫症	16	17	16	136	127	146
結核 (再掲)	3	3	2	1	1	1
ウイルス肝炎 (再掲)	1	1	1	22	22	22
II 新生物	114	132	97	182	172	192
悪性新生物 (再掲)	102	122	83	135	147	124
胃の悪性新生物 (再掲)	11	15	7	15	20	10
結腸及び直腸の悪性新生物 (再掲)	15	17	13	22	26	19
肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	5	7	4	4	6	3
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	15	20	9	13	16	9
乳房の悪性新生物 (再掲)	4	0	8	19	0	37
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5	4	6	17	9	25
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	26	23	29	344	300	385
糖尿病 (再掲)	16	15	18	175	198	153
高脂血症 (再掲)	0	0	0	113	69	155
V 精神及び行動の障害	209	210	208	203	195	211
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	23	18	29	9	6	13
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	130	135	126	55	60	50
気分[感情]障害(躁うつ病を含む) (再掲)	23	16	29	66	56	74
VI 神経系の疾患	96	81	110	136	114	157
アルツハイマー病 (再掲)	37	24	49	35	19	51
VII 眼及び付属器の疾患	9	8	10	266	207	322
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2	2	2	79	72	86
IX 循環器系の疾患	189	174	203	734	676	789
高血圧性疾患 (再掲)	5	3	7	528	455	597
心疾患(高血圧性のものを除く) (再掲)	47	44	50	105	116	95
脳血管疾患 (再掲)	125	114	136	74	77	71
X 呼吸器系の疾患	71	79	64	526	506	545
肺炎 (再掲)	27	29	26	6	6	7
慢性閉塞性肺疾患 (再掲)	6	8	4	17	24	11
喘息 (再掲)	3	3	3	100	94	106
XI 消化器系の疾患	52	56	48	1 031	934	1 123
う蝕 (再掲)	0	0	0	223	205	240
歯肉炎及び歯周疾患 (再掲)	0	0	0	350	302	395
肝疾患 (再掲)	6	7	6	26	28	24
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	9	8	9	226	208	243
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	55	40	69	691	533	840
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	37	37	37	223	217	228
慢性腎不全 (再掲)	19	21	17	84	112	58
XV 妊娠、分娩及び産じょく	15	・	28	11	・	22
XVI 周産期に発生した病態	5	6	5	2	2	2
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	5	5	4	11	11	12
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	13	10	15	61	51	70
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	103	80	125	241	249	234
骨折 (再掲)	72	42	100	72	62	82
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8	4	11	576	485	662

(3) 都道府県別

都道府県(患者住所地)別にみると、入院では、「高知」が2,215と最も高く、次いで「鹿児島」1,885、「長崎」1,812となっている。また、「神奈川」が683と最も低く、次いで「埼玉」723、「千葉」745となっている。

外来では、「佐賀」が6,850と最も高く、次いで「和歌山」6,570、「熊本」6,550となっている。また、「沖縄」が4,317と最も低く、次いで「千葉」4,901、「石川」4,921となっている。(図6)

図6 都道府県(患者住所地)別にみた受療率(人口10万対)

平成26年10月

